

識者に檄す

のものは、實に、以下二點を指摘して以て最大の原因なりとしなければならぬのである。

○

まず、第一に、諸原因中の最大原因なりとして最も聲を大にして叫び……かつ深く悲しまざるを得ないのは、實にわが國民の無自覺なることこれである。文化の流れ、とうとうとして止まるところを知らず、今や一方においては國字を改善し、一方においては速記文字を活用するにあらずんば、とうてい歐米列國と歩を同じゆうすること能わず、あたら、國際競争場に敗殘の憂き目を見るの外なき憂慮すべき形勢になつて居るにもかゝらず、わが國民は平然として、それらの問題のしかく重要なるゆえんを解せず、あだかも、深夜薄氷の上に眠りながら、天明既に近ずき、日まさに東天にのぼらんとするをも悟らざるが如き寒心すべき状態にあるのである。しかして、かくの如き國民の無自覺なることは、たゞに文字界のみにはあらざるべく、たとい如何なる方面においてもせよ、いやしくも國家を愛し國民を思う熱情あるの士に取つては、眞に、痛歎、これより大なるはなしと信ずるのである。

さらに、第二の原因として擧ぐべきは、速記文字の習得